

報道関係各位



一般社団法人  
日本プロ野球選手会



公益財団法人  
ドナルド・マクドナルド・ハウス・  
チャリティーズ・ジャパン

## 6月19日(金)プロ野球公式戦開幕に伴い プロ野球選手会 選手が病気の子どもとその家族のための滞在施設 「ドナルド・マクドナルド・ハウス」をサポート ～ 日本プロ野球選手会所属選手総勢 26 名が支援！！ ～

一般社団法人日本プロ野球選手会(理事長:松田宣浩)は、病気の子どもとその家族を支援する公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン(以下DMHC)(東京都新宿区西新宿 6-5-1、理事長:五十嵐隆)が運営を行う「ドナルド・マクドナルド・ハウス」を、今シーズン開幕後、所属選手総勢 26 名で支援することを発表しました。

一般社団法人日本プロ野球選手会では、選手の社会貢献活動への参加機会を提供する一環として、2019年12月5日にDMHCへの支援協力を発表しました。2019年12月21日には福岡ソフトバンクホークスの選手会長である中村晃選手が、地元「ドナルド・マクドナルド・ハウス ふくおか」を訪問し、寄付、また東北楽天ゴールデンイーグルスの銀次選手が子ども達を激励することを目的に毎年せんだいハウスを訪問するなど、病気の子どもとそこご家族のサポートを行って参りました。

今シーズンはより多くの選手がハウスの趣旨に賛同し、選手会会員選手のうち、総勢 26 名の選手たちが、自身で設定したシーズンの成績に応じた寄付で、「ドナルド・マクドナルド・ハウス」をサポートしてまいります。

DMHCは、難病や高度な医療を受けるために入院・通院する子どもとその家族が、精神的・経済的に大きな負担なく看病ができるよう、病院近くに低料金(一日 1,000 円)で滞在できる施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス(以下ハウス)」の運営を行っています。現在日本では全国11箇所で開催されており、ハウスの設立・運営費は日本マクドナルドをはじめとした企業各社や個人からの寄付・募金によりまかなわれています。また、ハウスの清掃・事務作業は2,600名以上もの地域のボランティアの方々を支えられ、付帯設備の多くはハウスの趣旨に賛同いただいた企業から提供されるなど、ハウスは多くの方の善意と協力のもとに成り立っています。

<報道関係者からのお問い合わせ先>

一般社団法人日本プロ野球選手会  
加藤 諭(090-5758-4749)

ドナルド・マクドナルド・ハウス財団 広報担当  
中園ひとみ(080-3093-3428)

## ハウスを支援する各球団の選手と支援内容について

球団	選手名	支援内容
東北楽天ゴールデンイーグルス	牧田 和久	1登板につき1万円
東北楽天ゴールデンイーグルス	鈴木 翔天	非公開
東北楽天ゴールデンイーグルス	西口 直人	非公開
東北楽天ゴールデンイーグルス	鈴木 大地	1安打につき1万円
東北楽天ゴールデンイーグルス	オコエ 瑠偉	非公開
東北楽天ゴールデンイーグルス	辰己 涼介	1盗塁につき1万円
埼玉西武ライオンズ	増田 達至	1登板につき1万円
埼玉西武ライオンズ	野田 昇吾	1登板につき5千円
埼玉西武ライオンズ	中村 剛也	1試合出場につき1万円
福岡ソフトバンクホークス	加治屋 蓮	1登板につき1万円
福岡ソフトバンクホークス	岩寄 翔	1ホールドにつき1万円
福岡ソフトバンクホークス	石川 柊太	非公開
福岡ソフトバンクホークス	杉山 一樹	登板数によって寄付
福岡ソフトバンクホークス	千賀 滉大	1イニングにつき1万円
福岡ソフトバンクホークス	嘉弥真 新也	1登板につき1万円
オリックス・バファローズ	増井 浩俊	1登板につき1万円
オリックス・バファローズ	若月 健矢	1盗塁阻止につき1万円
北海道日本ハムファイターズ	近藤 健介	1安打につき1万円
読売ジャイアンツ	太田 龍	1勝につき1万円
読売ジャイアンツ	増田 陸	1ホームランにつき1万円
読売ジャイアンツ	陽 岱鋼	1安打につき1万円
広島東洋カープ	田中 広輔	1安打につき1万円
横浜 DeNA ベイスターズ	高城 俊人	非公開
横浜 DeNA ベイスターズ	乙坂 智	非公開
東京ヤクルトスワローズ	小川 泰弘	非公開
東京ヤクルトスワローズ	山田 哲人	非公開

## ■病気と闘う子どもとその家族のための滞在施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス」

現在、全国で難病に苦しむ子どもの数は推計 14 万人とされています。このような子どもたちは、大学病院等の設備・スタッフの揃った専門病院で治療を受けることが多いのですが、これらの病院は基本的には家族の宿泊は認められていないため、家族が病院に寝泊りすることはできません。そのため、多くの家族はアパートを借りたり、ホテルに泊まらなければならず、経済的・精神的な負担を強いられます。

「ドナルド・マクドナルド・ハウス」は、“HOME AWAY FROM HOME”（わが家のようにくつろげる第二の家）をコンセプトに、こうした家族の経済的・精神的な負担を少しでも軽減し、安らげる場所を提供いたします。子どもたちが寂しさを感じることなく、元気になろうという力を持ってくれることを願っています。

ハウスの運営は、多数のボランティアの協力を受け、常勤のハウスマネージャーによって行われます。現在、ハウスは世界 45 の国と地域に 376 ヶ所（2020 年 5 月末現在）に開設しており、国内では日本第 1 号ハウスの「ドナルド・マクドナルド・ハウス せたがや」（東京都世田谷区/2001 年開館）をはじめ、全国に 11 施設あります。1 号ハウスオープン以来、延べ 70,104 家族が利用しています（2020 年 5 月末現在）。

